

一、勞資双方ノ態度

既報後会社側ハ依然強硬態度ヲ持シ殘留工ノ切崩シヲ警戒シツ、アリタル外特異行動ヲ認メハレ共爭議團側ニ在リテハ本月十三日別記（内務省關係ニハ現物添附）ノ如キ「軍需品製造工場昭和製作所」ノ勞働事情を訴ヘ公正なる批判を乞ふ、會社は軍部ノ及對を理由として協定を蹂躪すレト題スル「パンフレット」五千部ヲ作成シ陸海軍將校所届並ニ友誼團體其ノ他ニ郵送スルト共ニ既報後引續キ陸海軍兵器製作關係者其ノ他ニ陳情シ爭議ノ有利解決ノ為メ奔走シタリ

二、調停狀況並解決條件

既報後引續キ勞資代表ヲ交互當廳調停課ニ招致シ調停斡旋ニ努メタル結果本月十七日午後七時半ニ至リ別記覽書並念書ノ如キ條件ヲ以テ解決ヲ見タリ 三、警察事故 ナシ、右及申（通）報候也

別記

覽見 書

株會社昭和製作所第三工場 梅屋敷 工場對從業員ノ勞働事情ハ今田調停官ノ報告ニ依リ左記條件ヲ以テ圓滿解決シタルニ就テハ茲ニ覽書 三通ヲ作成シ 當事者 雙方及調停者 各一通之ヲ保持スルモノトス

記

- 一、昇給ハ本因ノ昇給ニ限リ日給五ニ銀五銀五トシ會社ノ査定ニ依リ第一工場トノ均給ヲ圖リ八月三十一日ヨリ實施ス
 - 二、臨時工ニシテ一年ニ達シタル者ハ調査ノ上本工トス
 - 三、退職手續ハ六ヶ月以内ニ改正發表ス
 - 四、工場内ノ衛生設備ハ會社ニ於テ可及的速急ニ改善ス
 - 五、深夜作業ハ可及的實施セサルモノトス
 - 六、前記點々ノ場合ハ其當日 日給ノ一日分勤務給與ノ場合ハ其ノ期日中日給ノ六割ヲ支給ス
- 昭和十年八月十七日

株會社昭和製作所 白藤善夫
 從業員代表 加藤敏雄
 停 停 者 金井元彦